

3. 運営業務

3.1 広報業務

1. 概要

独立行政法人化された放射線医学総合研究所の研究開発事業について、一般市民における認知度を高め「開かれた研究所」を指向するため活発な広報活動を実施した。このため、第1期中期計画下では、担当部門である広報室を理事会直轄の組織とし、以下の具体的な中期計画を定め、業務を推進した。

2. 第1期中期計画

(1) 広報活動と研究成果の普及・活用の促進

- 1) 研究成果の和文・英文による報告書(年4回以上)、ニュース(毎月)、雑誌(毎月)パンフレット等を作成し、広く配布する。
- 2) 一般向け図書の執筆、刊行を奨励する。研究成果に関するシンポジウム・セミナーをそれぞれ毎年開催する。
- 3) 科学技術、原子力・放射線、医療、生命倫理等に関する講演会、公開講座を定期的に開催(3回/年)する。
- 4) 研究成果の積極的な広報による普及に努めることとし、注目すべき成果については積極的にプレス発表等を行う。また、ホームページの内容充実を図る。
- 5) 研究成果は、データベース化を進めるとともに知的所有権に配慮しつつ、ホームページ等により公開する。また、研究成果を基に、一般向けの放射線に関する解説等を、ホームページ等に載せる。
- 6) 広報・情報発信機能の強化拡充を図る。
- 7) 各研究部門の内容について、分かりやすく説明したホームページを整備するとともに、定期的なアンケートや、モニター調査等により研究所公開を充実させる。
- 8) 研究所公開や講演会等の充実を努め、訪問者人数を17年度までに倍増させる。(平成11年度実績約1500人)
- 9) 外部有識者、地元住民、報道関係者等を集めた懇談会を毎年開催する。

3. 成果

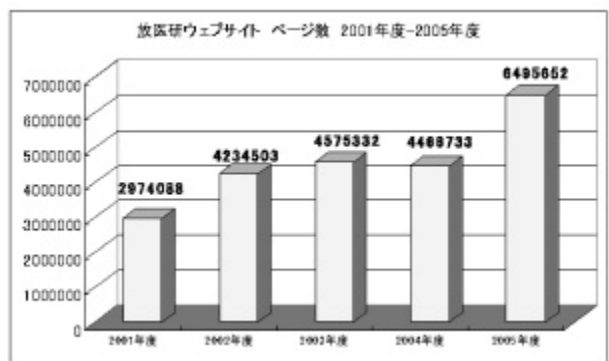
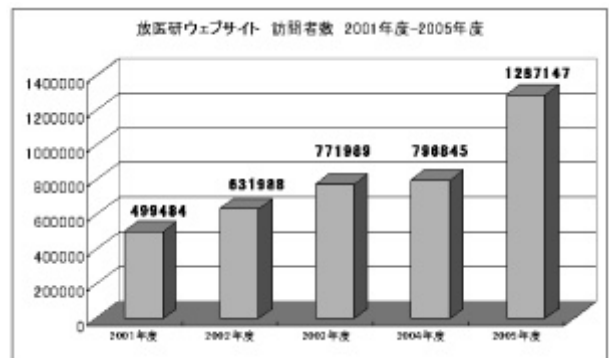
(1) ホームページの拡充

- 1) 外部向けホームページの運営を、第1期中期計画下における放射線医学総合研究所の市民に向けた情報発信ツールの核として位置づ

け、拡充を図った。

- 2) 重粒子医科学センター、放射線安全研究センター、緊急被ばく医療研究センター、フロンティア研究センター、及び運営部門のホームページを構築し情報量の拡大に努めた。
- 3) 各研究センターの申請に基づき、常時更新作業を実施した。
- 4) 隔月アクセス状況の解析を実施し、所内向け情報として報告した。
- 5) 期中、英文ホームページを立ち上げ、国際室の協力のもとに海外に向けた情報発信に注力した。

第1期中期計画期間中のアクセス数推移(訪問者数、ページ数)は、次の通りである。



(2) 定期刊行物の発行

- 1) 第1期中期計画期間中、研究所のトピックスを所内外に紹介する「放医研ニュース」を2006年3月号(No. 120)まで発行した。
2,600部/月発行
 - 2) 第1期中期計画期間中、放射線科学に関する情報誌「放射線科学」を2006年3月号(第49巻第3号)まで刊行した。2,000部/月発行
- * 両誌については、所内外の要望に応じて随時メーリングリストの更新作業を実施した。

- (3) 一般市民向け講演会、公開講座の開催
 専門家に向けた情報発信の場である学会や、シンポジウムの開催とは別に、一般市民に向けて、研究所の研究開発業務を紹介する一般講演会や公開市民講座を、第1中期計画期間中、26回開催。参加者数は、延べ6,086名に達した。
- 1) 平成13年9月26日
 第1回公開市民講座
 テーマ「病院情報システムの医療への貢献」
 (参加者10名)
 - 2) 平成14年1月21日
 第2回公開市民講座
 テーマ「科学史からみた21世紀の科学技術」
 (参加者170名)
 - 3) 平成14年2月27日
 第1回一般講演会
 経団連ホール(東京)
 テーマ「科学と技術のかかわり」
 日本の科学技術の実力
 (参加者230名)
 - 4) 平成14年4月11日
 一般公開併設市民公開講座
 (参加者延べ280名)
 - 5) 平成14年7月26日
 第2回一般講演会
 大阪科学技術センター大ホール(大阪)
 テーマ「これからのがん治療」
 (参加者230名)
 - 6) 平成14年8月1日
 第3回公開市民講座
 テーマ「心と体の病気をとらえる」
 (参加者155名)
 - 7) 平成14年12月12日
 第4回公開市民講座
 テーマ「遺伝子と重粒子線がん治療」
 (参加者141名)
 - 8) 平成15年2月28日
 第3回一般講演会
 赤坂草月ホール(東京)
 テーマ「脳科学の未来」 (参加者425名)
 - 9) 平成15年4月22日
 一般公開併設公開市民講座
 (参加者延べ300名)
 - 10) 平成15年6月15日
 保健物理学会共催一般講演会
 幕張メッセ国際会議場(千葉)
 テーマ「放射線で探る地球と宇宙の謎」
 (参加者300名)
 - 11) 平成15年7月25日
 第4回一般講演会
 大阪科学技術センター大ホール(大阪)
 テーマ「知の起源と重粒子線がん治療」
 (参加者137名)
 - 12) 平成15年8月22日
 第5回公開市民講座
 テーマ「環境と重粒子線がん治療」
 (参加者129名)
 - 13) 平成15年11月28日
 第6回公開市民講座
 テーマ「先進画像診断と放射線がん治療」
 (参加者136名)
 - 14) 平成16年3月5日
 第5回一般講演会
 名古屋国際センターホール
 テーマ「がん疫学と重粒子線がん治療」
 (参加者171名)
 - 15) 平成16年4月22日
 一般公開併設公開市民講座
 (参加者延べ300名)
 - 16) 平成16年7月2日
 HIMAC10周年記念一般講演会
 大手町経団連ホール
 テーマ「がん治療の新しい展開
 HIMAC10周年を記念して」
 (参加者565名)
 - 17) 平成16年8月20日
 第7回公開市民講座
 テーマ「目で確かめる放射線と医学」
 (参加者140名)
 - 18) 平成16年11月20日
 日本放射線学会共催一般講演会
 幕張プリンスホテルプリンスホール(千葉)
 テーマ「切らずに治す放射線療法」
 (参加者355名)
 - 19) 平成17年1月22日
 第6回一般講演会
 日本科学未来館みらいCANホール
 テーマ「宇宙と放射線医療」
 (参加者167名)
 - 20) 平成17年3月4日
 第8回公開市民講座
 テーマ「画像医学の進展と放射線がん治療」
 (参加者84名)
 - 21) 平成17年4月22日
 一般公開併設公開市民講座
 (参加者延べ300名)

- 22) 平成17年 6月25日
第7回一般講演会
西日本総合展示場（北九州市）大展示場
テーマ「がんの予防と重粒子線がん治療」
(参加者1,150名)
- 23) 平成17年 8月20日
第9回公開市民講座
テーマ「放射線の安全管理と重粒子線治療」
(参加者114名)
- 24) 平成17年12月21日
第10回公開市民講座
テーマ「放医研の国際活動と重粒子線治療」
(参加者84名)
- 25) 平成18年 3月17日
第1期中期計画成果発表・一般講演会
東京国際フォーラム（東京）
テーマ「放射線利用の未来と安全」
(参加者380名)

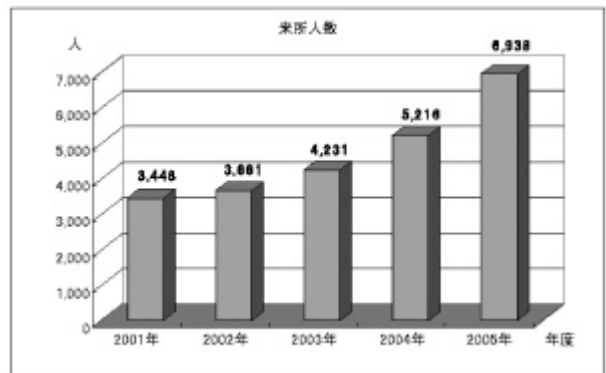
(4) 一般公開、見学対応の拡充

科学技術週間放医研一般公開、公開市民講座（所内開催）、見学対応といった機会を通して一般市民の来訪を促し、開かれた研究所を指向した。

- 1) 平成13年 4月22日
放医研一般公開 (参加者556名)
- 2) 平成13年 4月29日
那珂湊支所一般公開 (参加者60名)
- 3) 平成14年 4月21日
放医研一般公開 (参加者2,185名)
- 4) 平成13年 4月28日
那珂湊支所一般公開 (参加者64名)
- 5) 平成15年 4月22日
放医研一般公開 (参加者2,218名)
- 6) 平成15年 7月21日
那珂湊支所一般公開 (参加者54名)
- 7) 平成16年 4月22日
放医研一般公開 (参加者2,552名)
- 8) 平成16年 7月21日
那珂湊支所一般公開 (参加者236名)
- 9) 平成17年 4月22日
放医研一般公開 (参加者2,527名)
- 10) 平成17年 7月21日
那珂湊支所一般公開 (参加者210名)

平成11年度の一般来所者数(1,500名)をもとに策定された平成17年度到達目標:一般来所者数3,000名は、最終年度である平成17年度に、計画目標の2.3倍(6,900名)に到達した。

一般公開・公開市民講座・一般見学を合算した一般市民の延べ来所者数の推移は以下の通り。



(5) プレス発表と取材対応

研究所によるプレス発表とマスコミ取材対応を、透明性の高い研究所を指向する広報業務の主軸と位置づけ、積極的に注力した。独立行政法人化された研究所として、一般市民に広範に研究成果を伝達するプレス発表やマスコミ対応が重要であるという認識が次第に浸透し、平成15年度以降、プレス発表件数が飛躍的に伸張した。また、これに関連して、マスコミによる取材申込件数も年々増加した。特に、重粒子線がん治療の新聞等マスコミに登場する頻度は、きわめて高い。所内の研究者関連のプレス発表は、文部科学記者会（文部省内）と千葉県政クラブ（千葉県庁内）の2箇所を実施した。

- 1) 第1中期計画期間内の研究成果関連プレス発表は、総数51件。
- 2) 第1中期計画期間内のマスコミによる取材への対応は、総数178件に上った。

研究成果関連プレス発表の年度別推移、及び取材対応件数の年度別推移は、以下の通りである。

